

「オフィス内の転倒・落下・移動防止対策チェックリスト」で対策ができていなかった項目について、改善点を各項目ごとに記載しました。対策をしながら、できた項目について☑をつけてみましょう。

オフィス内の転倒・落下・移動防止対策 改善方法		チェック
	対 策	<input checked="" type="checkbox"/>
1	普段使っている場所の周辺には、背の高い家具を置かないようにします。 家具類はできるだけ生活の場所と離しましょう。	<input type="checkbox"/>
2	オフィス内で壁面以外に設置する場合は、家具同士を左右又は背面で連結します。	<input type="checkbox"/>
3	家具転倒防止器具で家具等の上部と、壁を固定しましょう。	<input type="checkbox"/>
4	2段重ねの家具は、必ず上下を連結した上で、壁と固定しましょう。	<input type="checkbox"/>
5	ローパーテーションは、転倒しにくい「コの字型」「H型」にするなどレイアウトにより安定化を図りましょう。	<input type="checkbox"/>
6	O A機器はデスク等へ固定しましょう。また、デスク、テーブルは連結し、安定化させましょう。	<input type="checkbox"/>
7	デスクは地震の揺れにより引出しが飛び出すと重心が前に偏り、転倒する可能性があります。 デスクは互いに連結するなどして、転倒防止対策をします。	<input type="checkbox"/>
8	時計、額縁、掲示板等は落下しないようにしっかりと固定しましょう。	<input type="checkbox"/>
9	ガラスの破損や収納物の飛び出しを防止するためには、ガラス飛散防止フィルムの貼付が効果的です。 ガラス戸の両面にはることにより飛散防止効果が高くなります。片面に貼る場合は、外側のガラス面に貼って下さい。	<input type="checkbox"/>
10	床につまずき易い障害物を置かないようにしましょう。	<input type="checkbox"/>
11	メインとなる避難通路は直線状に確保し、幅1.2m以上を確保しましょう。	<input type="checkbox"/>
12	避難通路、出入口周辺に転倒、移動しやすい家具類を置かないようにしましょう。	<input type="checkbox"/>
13	引き出しが飛び出すことで、つまずいてケガをしたり避難の妨げになることがあるので、家具類を置く方向にも注意しまし	<input type="checkbox"/>
14	よう。	<input type="checkbox"/>
15	避難誘導灯がどこからでも見えるよう、遮蔽物を置かないようにしましょう。	<input type="checkbox"/>
16	家具の上に物を置かないで下さい。	<input type="checkbox"/>
17	収納物落下防止器具等で収納物の落下対策を行いましょう。また、収納物は重いものを下に置くことで、家具の重心を下げ、転倒しにくくします。	<input type="checkbox"/>
18	危険な収納物（薬品、可燃物等）は、生活の場所とは離して保管し、収納物が飛び出したりしないよう扉解放防止対策や収容物落下対策を行いましょう。	<input type="checkbox"/>
19	デスクの下に避難できるよう、空間を確保しましょう。	<input type="checkbox"/>
20	引出し、扉は必ず閉めましょう。	<input type="checkbox"/>
21	地震時には家具類が窓ガラスに衝突し、割れる危険性があります。窓などの開口部は、避難経路として活用できる場合もあるので、窓際に背の高い家具を配置することは避けるようにします。 また、屋外にガラスの破片や収納物が落下した場合、通行人がけがをする危険性もあります。	<input type="checkbox"/>
22	キャストローをロックし、アジャスターを使用しましょう。ベルトなどで壁面に連結しましょう。 ※機器によって固定方法が異なります。取扱説明書に従い固定するか、メーカーに問合せで適切な方法で固定してください。	<input type="checkbox"/>

高層階（概ね10階以上）では、以下のことについても対策をしましょう		チェック
21	日常的に動かす家具類については、移動時以外は必ずキャスターロックをかけましょう。 定位置がある場合は、壁面や床面などに固定された着脱式のベルトなどで繋げましょう。	<input type="checkbox"/>
22	日常的に動かさない家具類については、キャスター固定用の下皿等を設置し、ポール式器具等で転倒防止をしましょう。 キャスターとアジャスターが設置されている機器は、アジャスターを使用しましょう。	<input type="checkbox"/>
23	壁に接して配置することが困難な家具類（テーブル等）については、フローリングなど固く平らな床面には、床と家具との接触部に粘着式の耐震マットを設置しましょう。 カーベットの床面では、床と家具との接触部にすべり防止マットを設置しましょう。	<input type="checkbox"/>
24	中の水が大きく揺れると、水槽の重心が大きく変動を繰り返して転倒する危険が大きくなります。 水槽と台を固定するだけでなく、台を壁と固定しましょう。	<input type="checkbox"/>
25	大きく揺らされることによって天井に衝突し、落下する危険があります。ワイヤー固定等で揺れを防止しましょう。	<input type="checkbox"/>
26	引き出し方向と揺れの方向が一致した場合に引き出しが飛び出すことによって、重心位置が移動し転倒します。 引き出し式の収納家具には、なるべく重いものは収納しないようにしましょう。 引き出しにラッチが付いているものを選択しましょう。	<input type="checkbox"/>
27	避難通路、出入口周辺に転倒、移動しやすい家具類を置かないようにしましょう。	<input type="checkbox"/>

フローリングのような滑りやすい床よりも、滑りにくい床に置いた家具の方が、転倒しやすい傾向があります。一方、滑りやすいフローリングやPタイルのような床では、地震動による家具類の移動が大きくなり、何かに当たると転倒するケースもあります。家具はなるべく壁や床に固定しましょう。